

TOTO

ウォシュレット® 一体形便器（壁排水）


◆ “ウォシュレット” はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



1 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

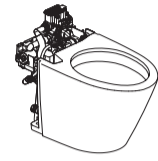


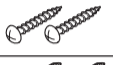








※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「禁止」を示します。		は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
---	----------------------------------	---	---------------------------------------

注意	
	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらし、財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 水が噴き出します。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実にを行う 故障や水漏れの原因になります。

2 部品の確認

※部品があるか、下表を参照して確認してください。

名称	個数	略図	備考	
便器	1個		質量：30kg	
固定片	固定片	1個		
	接着ブロック	1個		
	木ねじ	2本		十字穴付きタッピンねじ トラス 4種 φ6×40
固定金具	木ねじ	2本		φ6.2×63
	接続パッキン	1個		
施工説明書	1部	本紙		
位置決めシート	1部			
パネル	すっきりパネル（左）	1個		面ファスナー付き
	すっきりパネル（右）	1個		
給水接続部	止水栓（パッキン付き）	1個		
	給水ホース	1個		組み立て済み
開閉工具	1個		組み立て済み	

※開閉工具は必ずお客様にお渡しください。

3 取り付け前のご注意

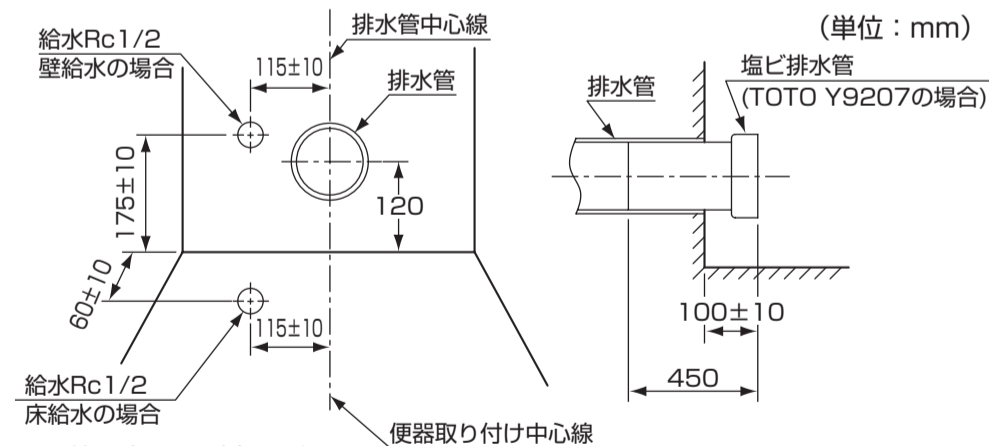
■取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

※室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。（壁が変色する原因になります）

※Aタイプについて、窓枠、棚、収納キャビネットなどと便ふたの干渉にご注意ください。便ふたが当たって開ききらないことがあります。（棚、収納キャビネットは下端FL+1200mm以上を目安としてください）

■止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

■施工前に、給水取り出し位置および排水位置が所定の位置にあることを確認してください。



■設置前に水圧を測定ください。

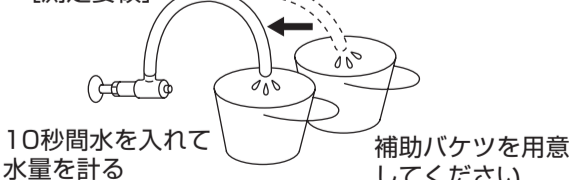
最低必要水圧：0.07MPa（流動時）が必要です。この水圧を確保できないと汚物を排出しないことがありますので注意してください。最高水圧は0.75MPaです。

注1：洗面所や浴室など他の水栓器具を同時に使用したときも、上記水圧と流量が必要です。

注2：配管は呼び径13以上をご使用ください。（上記水圧と流量の確保のため）

〈バケツによる簡易測定方法〉

〔測定要領〕



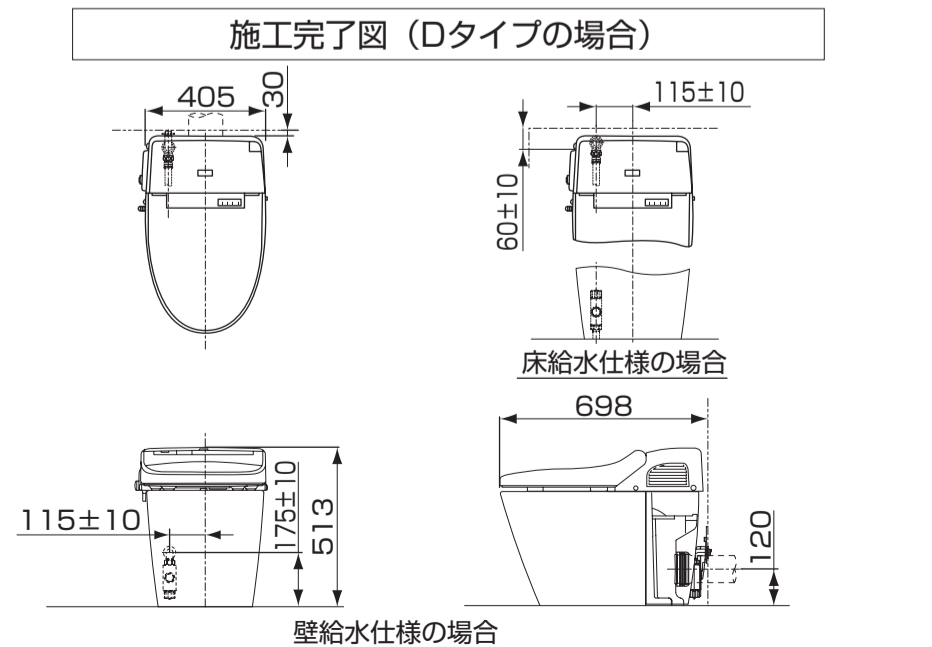
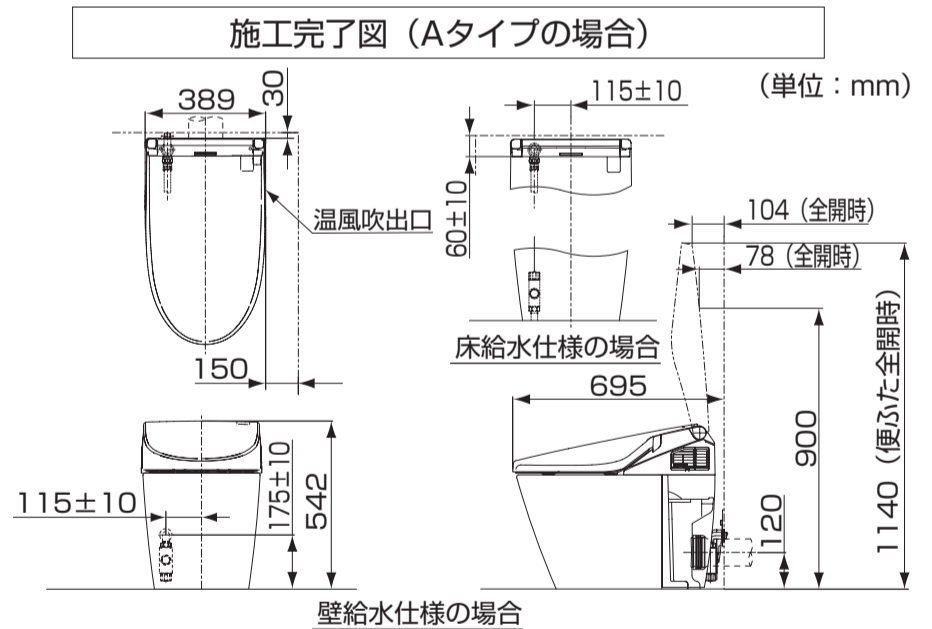
下表の水量があれば最低必要水圧は確保できています。

止水栓のタイプ	水量（10秒間）
本商品同梱の止水栓	5.5L以上
ロータンク用止水栓（壁給水）	4.5L以上
ロータンク用止水栓（床給水）	4.0L以上

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



商品セット図



4 各部の名称と施工のポイント

ポイント②

- ①火や熱で加工したり、切ったりしないでください。
- ②溶剤や接着剤を塗布するとパッキンが溶けるおそれがあります。
- ③取り付けには必ず水石けんを使用してください。水石けんを使用しないとパッキンが切れるおそれがあります。
- ④取り付け後は必ず水溜試験を行い、水漏れしないことを確認してください。
- ⑤取り付け後、水漏れする場合はPシール(TOTO品番: TZ106A)をパッキンと陶器排水口の境目に充てんしてください。陶器排水口にパッキンを取り付けた際の状態について、以下を確認してください。

【パッキン側面図】

排水管側 × 陶器排水口先端がはみ出る × 便器側 ○

パッキンのヒダが傾く

便器排水口高さ、口径の陶器公差・排水管の高さの施工誤差によっては、パッキンがはみ出すことがあります。水溜試験の結果、水漏れしていなければパッキンがはみ出しても品質的に問題はございません。

ポイント①

排水管は、必ず 1/50 以上の勾配を確保してください。

注意

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

必ず実行

1/50以上の順勾配

排水管サドル・支持金具・バンドなどで固定する場合は、便器排水口が接続できる高さに調整したあとに実施ください。固定の際は高さ調整した排水管を引っ張ったり、突き上げたりしないようにご注意ください。

ポイント④

すっきりパネルの取り付けはウォシュレット機能部を取り付けたあとに行うこと！ (➡ 7 8)

ポイント①

位置決めシートで固定片の位置をきちんと出すこと！ (➡ 3)

各部名称: 接続パッキン, 排水管, 給水フィルター, 面ファスナー, 工具ホルダー, 開閉工具, 止水栓, 給水ホース, ウォシュレット機能部用コネクター, 便器洗浄バルブ, すっきりパネル(右), 木ねじ, ワッシャー, 便器, センターラベル, すっきりパネル(左), 壁給水の場合, 床給水の場合, 接着ブロック, 木ねじ, 固定片, ポイント①

※給水フィルター掃除用の工具です。使用後は、工具ホルダーに戻すこと！

5 施工要領

1 給・排水管の取り出し

■給・排水管を所定の位置に取り出す。

(単位: mm)

給水Rc1/2 壁給水の場合

給水Rc1/2 床給水の場合

排水管中心線

排水管

塩ビ排水管 (TOTO Y9207の場合)

便器取り付け中心線

2 止水栓の取り付け

■止水栓を所定の位置に取り付ける。

床給水の場合

- ①取り出し管①を使用する。
- ②化粧カバーを取り付ける。

止水栓

取り出し管①

化粧カバー

壁給水の場合

- ①取り出し管②を使用する。
- ②化粧カバーを取り付ける。

止水栓

取り出し管②

化粧カバー

※取付方向を間違えないこと

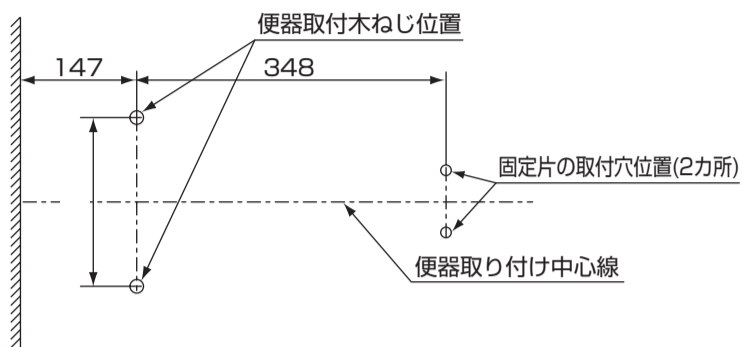
※取り出し管のねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。

3 便器の仮置き

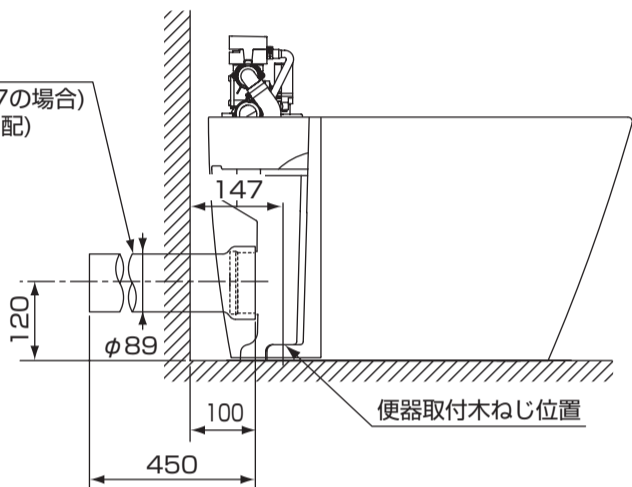
- ①便器取り付け中心線をけがく。
- ②下図を参照して排水の接続が所定の位置になるように便器を仮置きする。
※このとき、便器取り付け中心線と便器の中心がほぼ一致するように注意してください。
- ③便器取付木ねじ位置をけがく(2カ所)
- ④便器を外し、便器取付木ねじ位置にφ3程度の下穴をあける。

(排水管の出代100mmの場合)

(単位: mm)



塩ビ排水管
(TOTO Y9207の場合)
(1/50以上順勾配)

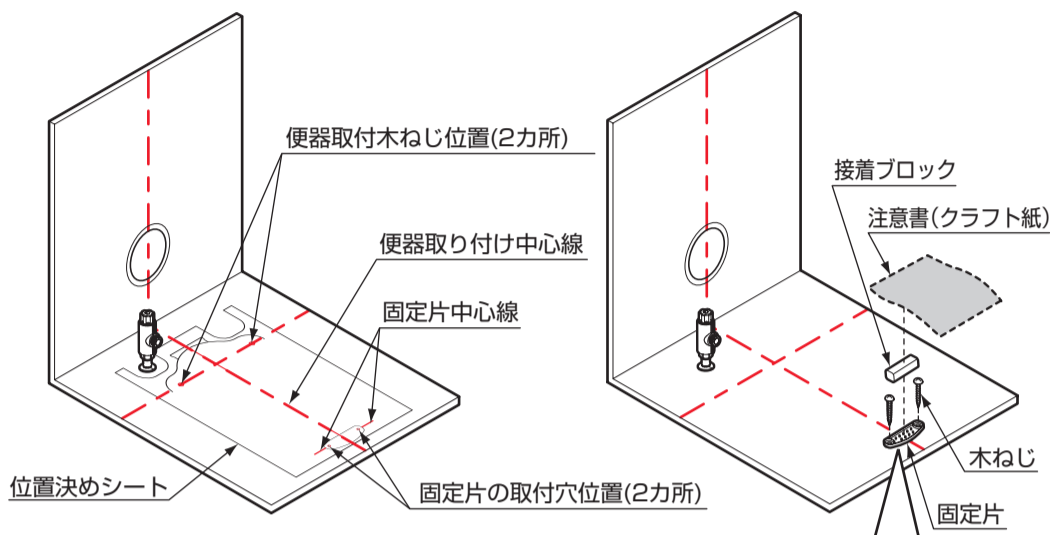


4 位置決めシートで固定片の取り付け

- ①位置決めシートを便器取付木ねじの下穴および便器取り付け中心線にあわせ床面におく。
- ②給水管取り出し範囲に止水栓があることを確認する。
※給水位置が適切でないと、止水栓が商品に干渉することがありますので、ご注意ください。
- ③固定片取付穴位置(2カ所)、固定片中心線をけがく。
- ④位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで固定する。
※床に木ねじをねじ込む前に、φ3程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。
- ⑤固定片は、図のように接着ブロックを固定片の凹部のピンに差し込み、その後指で軽く押す。
- ⑥接着ブロックの上に付属の注意書(クラフト紙)をかぶせる。
※印字のないツルツルの面を下向きにしてください。

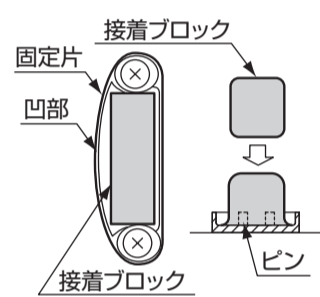
(位置決めシート設置状態)

(固定片取付状態)



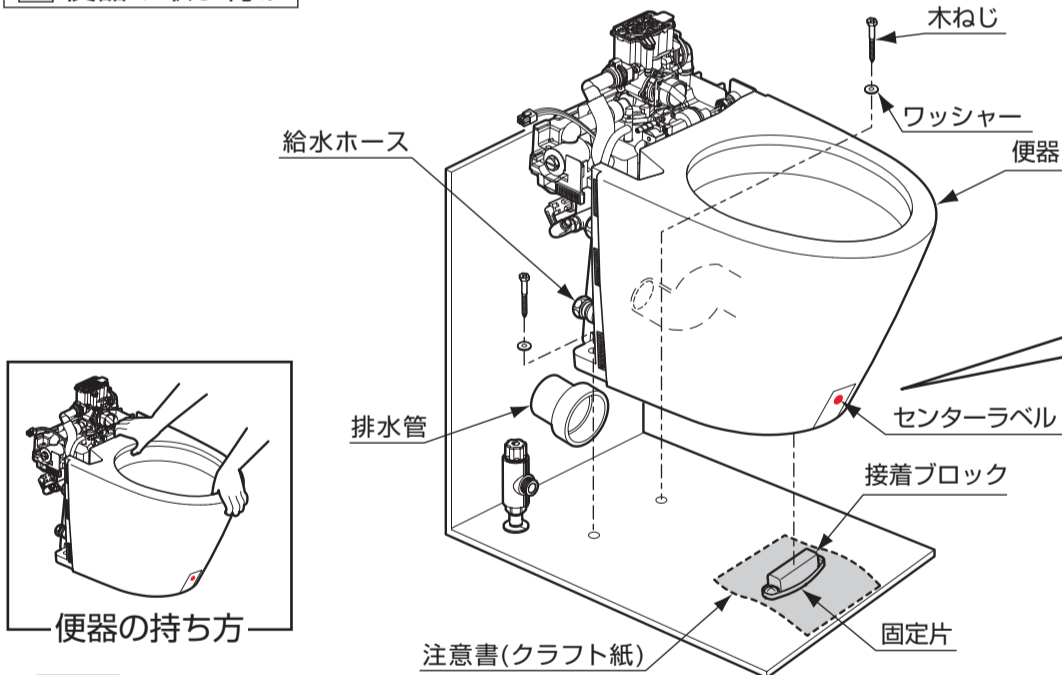
<接着ブロックについて>

- ※施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
- ※接着ブロックの方向性は特にありません。
- ※気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。このときは、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用してください。



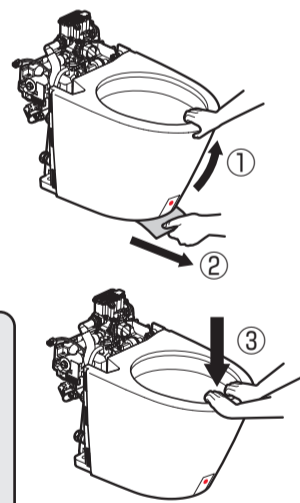
※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照ください。

5 便器の取り付け



手順2

- ①センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- ②便器先端を少し持ち上げ、固定片上のクラフト紙を引き抜く。
- ③接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかりと押さえ、センターラベルをはがす。



注意

- センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- 便器が床につくまでしっかりと便器を押さえてください。

手順1

※便器排水口高さには寸法許容差がありますので、排水管設置の際は排水管位置を便器排水口高さに調整後、本固定を行ってください。

- ①便器排水口に接続パッキンを取り付ける。
※接続パッキンの取付方向は、図を参考にしてください。
あらかじめ接続パッキンまたは排水管に石けん水を塗って差し込んでください。
- ②便器を排水管に差し込む。

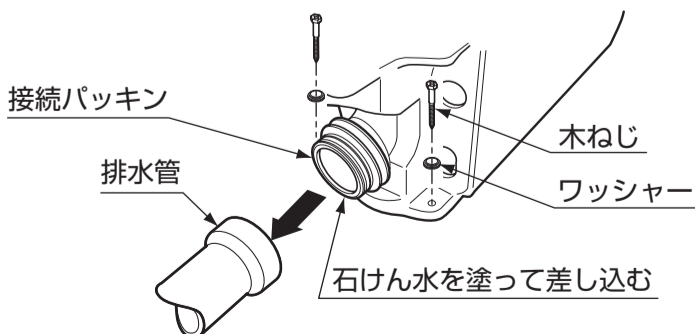
注意

便器を排水ソケットに差し込む前に給水ホースが便器の外に出ていることを確認してください。

注意

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

必ず実行



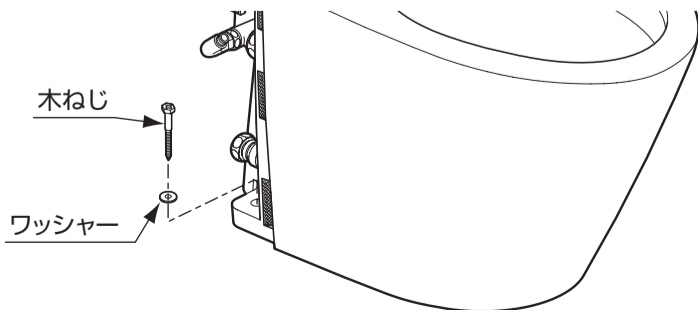
※ワッシャーを入れて確実に木ねじを締めてください。
※排水管は、必ず1/50以上勾配を確保してください。

手順3

便器側の取付穴(2カ所)をワッシャー、木ねじで固定する。

注意

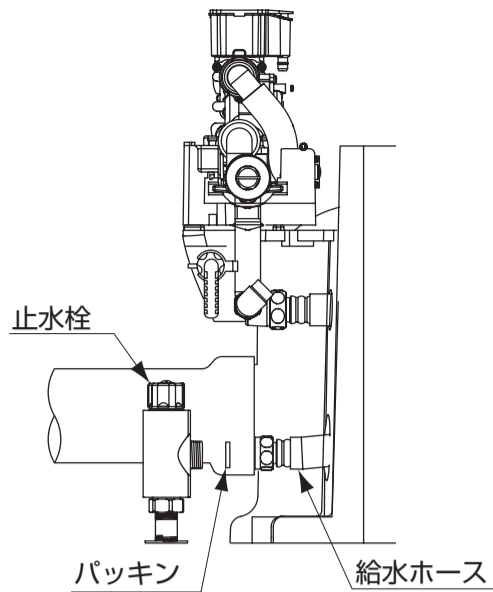
木ねじを確実に締めてください。木ねじを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



6 給水ホースの取り付け

■給水ホースの袋ナットにパッキン*を入れて止水栓に固定する。

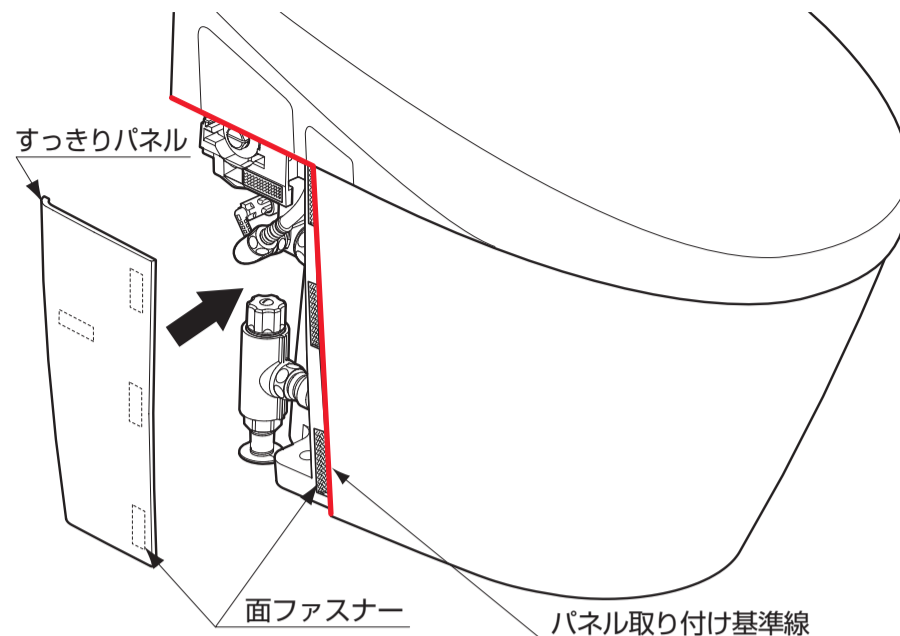
※止水栓に同梱しています。



8 すっきりパネルの取り付け

■ウォシュレット機能部の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線(赤線)にあわせて取り付ける。

※このとき、面ファスナー部(4カ所)をしっかりと押さえてください。



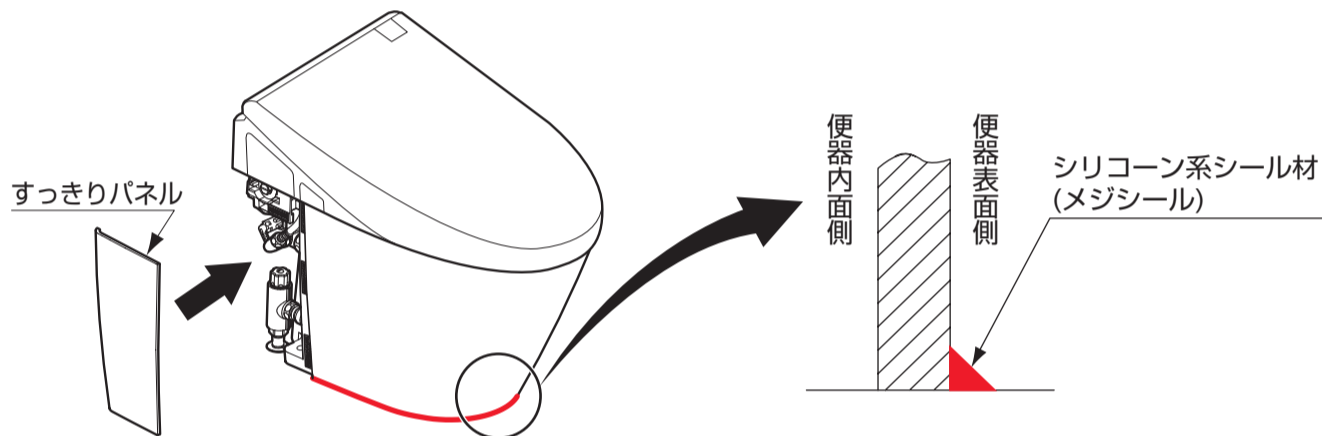
7 ウォシュレット機能部の取り付け・試運転

■ウォシュレット機能部同梱の施工説明書を参照のこと。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。

フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を充てんすることをおすすめします。



防振シート HR800S(オプション品)

集合住宅(RC構造)では、トイレの小便時の音が階下へひびくことがあります。TOTOの防振シートは、床上排水タイプの腰掛便器と床の間に取り付けることで、床を通じて階下へ伝わる小便行為音(伝搬音)を効果的に低減しますのでご利用されることをおすすめいたします。

防振シートの厚み分(5mm)排水・壁給水接続位置が上がりますのでご注意ください。